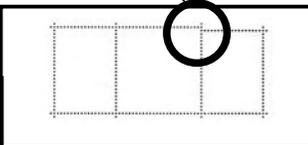
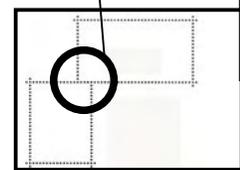
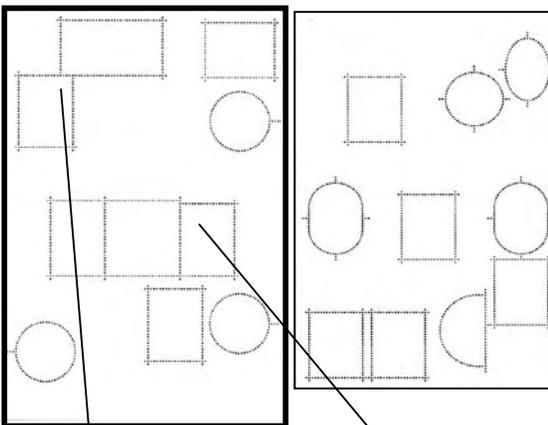
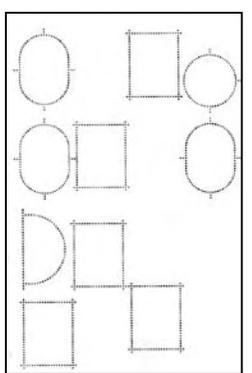
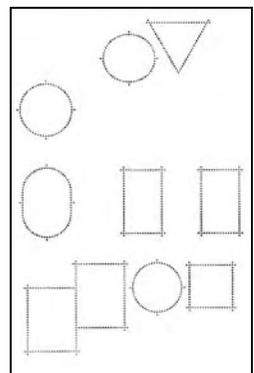
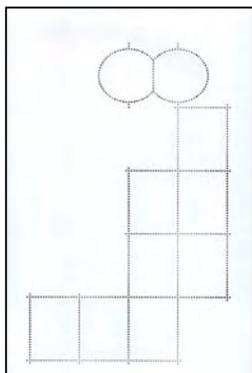
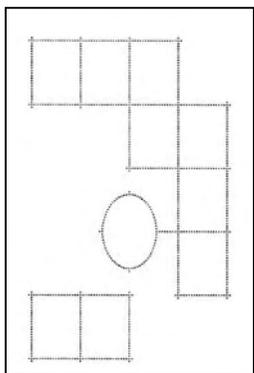
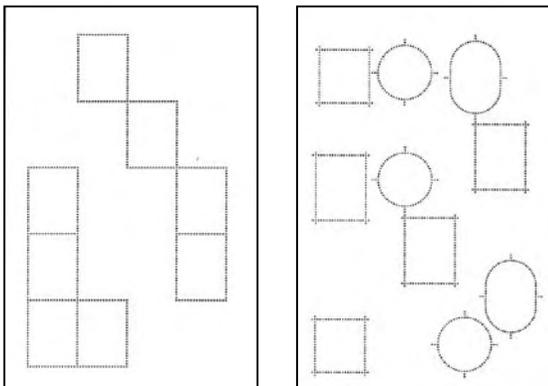
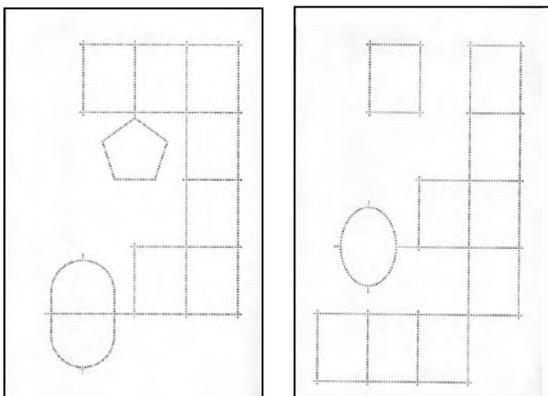




同じ形でも目打ちにはバラエティーがあることが判るが。これとて切り取り易さを追求するならばと形態も決まってもよさそうに考えるのは私だけであろうか。

最近の様に連刷切手発行等が常態化してくると切手も単片でなくシートで見れば自ずと単片だけを眺めているだけでは気づかないことを教えてくれる。更に、裏に返して多くのシートを眺めると今まで気にしなかったことに気が付きおもしろい。紙面にゆとりが出来たのでいくつかをご覧ください。裏の世界に気をとめてアルバムに記することも一考か思います。

裏から見ると、なんでこのような目打ちをしなければいけないのか？ 切り取って使用することなど頭になくただ思い付きのものではないかと疑わざるを得ないものがある。切り方によっては切手を傷つけてしまう可能性を課しているようなものもあるがいかかであろう。また



何ゆえの段差か